

『三層フェスタ』プレワークショップ： 若手が拓く言語研究の新領域

2016年9月29日（木） 13時半～18時
筑波大学 第一エリア 1C302 会議室

9月30日（金）に廣瀬幸生教授還暦記念言語学ワークショップ『三層モデルでみえてくる言語の機能としくみ』（通称『三層フェスタ』）が開催されますが、その「前夜祭」として、29日の午後、インフォーマルなプレワークショップを行います。

廣瀬教授の薫陶を受けた研究者は様々なフィールドにいます。プレワークショップでは、意味論・統語論・形態論の若手研究者に話題提供をしてもらい、語用論とのインターフェイスについて、三層モデルと文法について、言語使用と言語知識について、理解を深めていきたいと思えます。

この会は、科研費基盤研究（B）『Mirativityにおける「焦点」と「評価」の役割：日英語からのアプローチ』（課題番号：16H03428、研究代表者：島田雅晴）の活動の一部です。科研課題との関連では、とくに、奈良女子大学の今野弘章先生が「イ落ち」に関する最新のご研究をお話し下さる予定です。

13:30	～	13:35	イントロ		
13:35	～	14:10	<意味論語用論系>①	小薬 哲哉（大阪大）	
14:10	～	14:45	<統語論系>①	三上 傑（東北大）	
			休憩		
14:55	～	15:25	<形態論系>①	加藤 諄（東北大院）	
15:25	～	16:00	<意味語用論系>②	大澤 舞（東邦大）	
16:00	～	16:30	<統語論系>②	本多 正敏（筑波大院）	
			休憩		
16:40	～	17:10	<形態論系>②	納谷 亮平（筑波大院）	
17:10	～	17:50	<意味語用論系>③	今野 弘章（奈良女子大）	
17:50	～	18:00	ラウンドアップ		

事前申し込みや参加費は不要ですので、どなたでもご自由にご参加ください。今回の発表者ですでに教育職にある人はすべて人文社会科学研究科博士課程の修了生です。専攻、領域、コースを問わず、院生・学群生のみなさんのご参加を特に歓迎し、ともに言語学の議論をする場にしたいと思えます。なお、本会の企画・準備・当日の進行は科研課題研究分担者の長野明子と三上傑（ともに東北大）が担当します。

（問い合わせ先：島田雅晴（文芸・言語専攻））